

皆様と共に 無事に新しき年を迎えることができましたこと
心より 感謝申し上げます
本年が皆様にとって 実り多き年となりますようお祈り申し上げます

去年 12 月、はやぶさ 2 号が、約 6 年、52 億 km に及ぶ「生命の起源」を探る旅に出ました。飛行機で世界一周することは想像できますが、宇宙となりますと全くわかりません。それでも確信を持ってロケットを作りあげた研究者、技術者の方々には、只々感動するばかりですね。

東京オリンピックの終わった頃帰ってくるそうです。映像を持ち帰られるのかなあ、どんな発見があるのだろうか、とても楽しみです。無事に帰ってくれることを祈ります。

「生命」って？

我々は、心臓が動いていることを「生きている」と考えます。そして、心臓が止まったときを「死」と考えます。仏さまはこのような「常識」をバツサリと打ち破りました。

「生命はね、始めもなく、終わりもない、永遠の存在なのだよ」

「悟りを得るために、幾万回も生まれ変わってきたのだよ」

私たちの居る世界は、すべてが相対です。生と死、陰と陽、男と女、白と黒、善と悪、表と裏、有と無、相対するものが織りあっているのがこの世界です。

「生と死、あらゆるものが分かれているかのように見えるけれども実は、すべての命、存在するものすべては、ひとつなのだよ。」

「寿命の時を、しっかり生きなさい。様々な経験をして魂を磨いて命のふるさとに帰っておいで」
身体、が「有る」のは、行動するという「経験」をするために与えられたもの。美しい風景を見る、美味しいものを味わうこと、痛いと感じること、それらすべての経験から学ぶために「寿命」という時を与えられたのです。

人類がどれほど進歩しても、絶対にわからないもの、それは、自分の寿命。
天（大いなる存在）は、そのようにしてくれました。寿命の時間を知らない方がいい、ということ。
心配するよりも、人間は今、この瞬間しか生きれないから、先のことはどうしようもないんです。
だから、後悔しないように生きる。後になって、あの時どうして素直にならなかったのだろうか、なぜ愛さなかったのだろうかと悔やんでもやり直せませんから。

おかあさんが命を賭して産んでくれた、おとうさんが一生懸命働いて養ってくれた。

学校の先生、先輩友人、多くの人たちに支えられてここまで来た。

誰もがひとつずつ年を重ねて老いていく。

そして、いつの日か誰もが為すべきことを終えて、命のふるさとに帰る。これが、人の道。

だから、恐れない、くよくよしない、人のせいにしない。

しっかり前を向いて、今、やるべきことをやるだけ。

サイコーの笑顔で、優しい、親切な人になると、ありがとうと喜ばれる人になる。これが、仏の道。

だから、威張らない、弱いものいじめをしない、欲張らない。

どんな時でも、おかげさま、おたがいさまを忘れない人でありたい。

其の二

12月〇日（晴れ） 大義とは？

総選挙です。安倍政権に代わって約2年、日本は上を向き始めたら、消費増税で下を向き始めと、めまぐるしい2年であったと感じます。妙だなあと思ったのは、野党が解散に消極的であったこと。自民政権を倒すチャンスなのに、大義のない解散であると連呼していましたっけ。参ったなあ、困っちゃうなあという雰囲気です。「日本を良くするために、私はこのように考える！」という政治的信念を持てる人が「大義」の人ではないだろうか。今の日本には、政治屋はいても、真の政治家はいないのでしょうか。それでも、投票に行きますよ、国民としての義務ですから。（偉そうに言う俊栄、若い頃は選挙や政治にまったくの無関心でした。反省！）

〇月△日（晴れやか） おじさんになるってすばらしい！

去年、BS放送で「フーテンの寅さん」が毎週放送されていました。何気なく、家族で見ようになりました。（子どもたちがすっかりはまりましたね）昔、見たときよりも、感動が深くなっていることに気づきました。寅さん、おいちゃん、おばちゃん、登場人物の心情が「ふむふむ、そうなんだよなあ」と理解できるんですね。これって、年取ったということですか。感動できることが増えたり、理解や受容できる範囲が少しずつ広がることは素敵だなと思います。

おじさんを過ぎて次には「おじいさん」になる。最期の時まで身の回りのことは自分でできて、話もできて、ごはんも美味しく食べれるおじいさんになりたいな、家族には「みんなのお蔭で幸せだったよ、ありがとうね」と格好良く別れの言葉を決める、これが俊栄のエンディングプランであります。

12月△日（曇り） ステップアップ！！

息子ヒロアキと何気なく並んだ時、「おい、ヒロアキ」と呼びかけたら「なあに」と振り向いた彼の顔が目の前にありましたっけ。家内がそれを見て「ああっ、二人横一線ねえ〜」と拍手しました。いつのまにやら追いつかれていたのです。うっすら髭も生え、声は2オクターブ低くなり、話ぶりも尖ってきたりと、気が付けば13歳。「あと何年この家で一緒に過ごすのかなあ」と父はしみじみ考えたりして。

アメリカに留学し、日本の大企業に就職した甥の影響を受けたのか、「僕は将来外国に行きたい」と目標を語るようになった彼、（英語には悪戦苦闘してますが）「どんな仕事をしようかなあ」とポツリとつぶやく彼、少しずつ自立していくようです。ひな鳥が、勇気を出して飛び立っていくように、近い未来に彼もまた親の巣から羽ばたくのでしょうか。「あなた、ヒロアキが出て行ったら寂しがるわね、きっと」

と冷やかす家内、「大成する男は家を出るんだよ、いつまでも家でうろうろされちゃあかなわないねえ」と強がる父でした。

〇お盆法要のご案内 8月8日（土曜日）14時から（13時受付開始）

ミニ塔婆供養（一基500円）が定着してきました。持ち帰らなくていいですし、お手軽な供養料で喜ばれています。6月のおたよりで詳細をお伝えします。

〇年回法要

多くの方が、土曜、日曜日に勤められます。日取り決まりましたら早めに連絡をください。また、

お寺の本堂で法事を希望される方は、11時、12時以降になることがありますのでご了承ください。

○ブログを始めました！

ヤフーブログ「吉田俊栄の独り言」でお楽しみください。